

IDCJ 評価部主催

『第 50 回プロフェッショナル統計分析ワークショップ

～基礎的技法からインパクト評価の技法までじっくり学ぶ統計分析テクニック～』

日時： 2026 年 3 月 9 日（月）10:00-12:30 『事前研修：インパクト評価の基本デザインと実例』（自由参加）
2026 年 3 月 9 日（月）13:30-17:30、3 月 11 日（水）10:00-17:30、3 月 13 日（金）10:00-17:30

講師： 佐々木亮・ウェスタンミシガン大学評価学博士
高木桂一・スタンフォード大学社会学博士

場所： Zoom による開催

時間割： 以下のとおりを計画しています。進み具合により 1 時間程度前後致します。

回	日時		内容	講師
2026 年 3 月 9 日 (月)	10:00-12:30 (自由参加)		『事前研修：インパクト評価の基本デザインと実例』（自由参加） (1) 事前・事後比較デザイン (もっとも簡便) (2) 時系列デザイン (3) 一般指標デザイン (4) マッチングデザイン (5) RCT (ランダム化比較試験) (もっとも厳格)	佐々木亮
	13:30-17:30		イントロダクション (1) ランダム・サンプリングとランダム・アサインメントの手順 (2) 平均値の計算 (3) 標準偏差の計算	佐々木亮
2026 年 3 月 11 日 (水)	10:00-12:30		(4) 以前の状況と比較する (対応のあるt検定)	佐々木亮
	13:30-17:30		(5) 隣町と比較する (対応のないt検定)	佐々木亮
			(6) 「はい／いいえ」の比率を比較する (カイ2乗検定)	佐々木亮
2026 年 3 月 13 日 (金)	10:00-12:30		(7) 周辺の複数地区と比較してインパクトを見る (クロスセクションデータの重回帰分析)	佐々木亮
	13:30-17:30		(8) 重回帰分析の手計算 この回は電卓およびエクセルでひたすら手計算してみる	佐々木亮
			(9) 過去の傾向線と比較してインパクトを見る (時系列データの重回帰分析)	佐々木亮
			(10) 統計学の学び方:スタンフォード大学の場合	高木桂一
	(17:30-19:00)	(希望者のみ)	個別相談会(カウンセリング)(3 枠) 一人あたり 30 分程度で、統計分析の個別相談に応じます。対面参加のみとさせていただきます。	高木桂一 佐々木亮



3日間の演習を修了された方に修了証（英文）を発行致します。講師二人のダブルサイン入りです。

(PDF あるいは物理版)

参加条件

- (1) 足し算・引き算・掛け算・割り算ができること。
- (2) エクセルを日常的に使用していること(数字等の入力がスムーズにできる)。
- (3) ウィンドウズ用のエクセルが搭載されたパソコンを用意できること(エクセルのバージョンは 2010 以上、Excel Mobile は「分析ツール」の機能がないので不可)(Mac 版もエクセル 2016 以降なら大丈夫です)。
- (4) モニターを用意すること(エクセルを操作するパソコンの他に、モニターが必要です)。

受講に際して用意する物

ウィンドウズ・パソコン、モニター（もう一台のパソコンでも可能（12 インチ以上）、筆記用具（ペン、鉛筆、消しゴム）、電卓（スマホ可）。

（モニターで講師の講義を視聴しながら、パソコンでエクセルを操作していただきます。）

テキストの配付

ワークショップ開催前に、テキストを PDF にしてメール添付書類でお送りします。

また、日本国内在住の方には印刷して宅急便でお送りします（海外にお住まいの方には印刷版の郵送はありませんのでご了承ください）。

参加料、参加申し込み、連絡先

参加料：開催決定後にご連絡する Peatix のサイトでお支払ください（カード可、コンビニ払い可）

3日間：39,000 円

（事前研修（自由参加）にもご参加いただけます。）

参加申し込み：[Google Form](#) からお申込みください（締切：2026 年 2 月 24 日（火）17 時）。

連絡先：佐々木亮（ささきりょう）（sasaki.ryo@idcj.or.jp）

<https://www.idcj.jp/seminar/statistical-analysis-workshop.html>